

ZENROSAI NEWS
5115B413

全労済の
住まいる共済

①火災共済・②自然災害共済

風水害等給付付火災共済・自然災害共済・個人賠償責任共済

2016年8月発効継続 募集のご案内



全日本自治団体労働組合
北海道本部
〒060-0806 札幌市北区
北6西7北海道自治労会館
電話 011-747-3211
FAX 011-700-2053
編集・発行 佐々木直人

じちろう共済特集号
住まいる共済
8月発効継続募集のご案内



安心のポイント1
70%以上の
焼破損割合で全焼損払い
↑70%以上
「柱1本でも残っていたらだめ?」「屋根が全部落ちなければだめ?」ということはあ
りません。新火災共済は、建物の焼破損割
り率が70%以上で全焼扱いとなります。全
焼扱いになると加入している共済金額全
額が支払われます。

安心のポイント2
再取得価額
で保障!

新火災共済は、火災などによる被害に対
して、同程度のものを新たに購入・修理す
るために必要な金額(再取得価額)で保障
します。

安心のポイント3
家財のみでも
加入OK!

電化製品・家具・寝具・衣類品・その
他必需品など、家財も被害に遭う
ことがあります。再購入・修繕の費
用が高額になることも、家財の保
障も必要です。

「全労済の住まいる共済」は、①火災共済と②自然災害共済を合わせた呼び名です。
火災、風水害、地震など、さまざまなリスクから「住宅」と「家財」を守る保障です。

2016年8月発効継続募集スケジュール

■ 募集締切日:2016年4月末

■ 効力発生日:2016年8月1日

■ 提出先:各単組(所属の組合)

※詳細につきましては、リーフレットをご覧ください。
(お手もとにない場合は所属の組合にお問い合わせください。)

共済契約期間 2016年8月1日⇒2017年7月末日

※以降、1年更新

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会

自治労共済本部 北海道支部

全日本自治体労働者共済生活協同組合北海道支部

保障のことなら
全労済
全労済は、営利を目的としない保
障の生協として共済事業を営み、
組合員の皆さまの安心とゆとりあ
る暮らしをめざしています。出資金
をお支払いいただき組合員にな
れば、各種共済をご利用いただけ
ます。

新しく組合員になれる方へ(出資金について)

全労済(全国労働者共済生活協同組合連合会)と自治労共済生協(全日本自治体労働者共済生活協同組合)は、消費生活協同組合法にもとづき非営利で共済事
業を営む生活協同組合連合会と同連合会に統合参加する生活協同組合です。生活協同組合は組合員の参加により運営されています。新しく組合員になれる方は
出資金100円をお支払いいただき自治労共済生協の組合員となつていただくことにより、各都道府県支部の取り扱いにあわせて、全労済と自治労共済生協の各
種共済を利用することができます。

「信用リスク」

全労済は、将来の支払いに備えて、厚生労働省令に定められている共済契約準備金をこえる十分な積み立てを行っています。また、資産運用のリスクを適切に管理
し、健全な資産運用を行っています。全労済は、これからも引き続き健全な経営に努めていくとともに、情報開示を積極的に行っていきます。
また、個人情報保護法をはじめ関連する法令等を遵守し、お預かりした組合員の皆さまの情報について厳重な管理体制のもとに正確性・機密性・安全性の確保に
努めています(※詳しくは各都道府県支部にお問い合わせください)。

全労済北海道本部が取り扱う 住まいる共済制度概要と掛金のご案内

安心の制度内容

新 火災共済

火災など

- 火災
- 落雷

- 破裂・爆発
- 突発的な第三者の直接加害行為 (損害額5万円以上)
- 他人の住居からの水ぬれ
- 消火作業による冠水・破壊
- 他人の車両の飛び込み
- 建物外部からの物体の落下・飛来



マンション構造専用 風水害保障なしタイプ

風水害リスクの低いマンションのために風水害保障を不担保にした保障です。

掛金がお手頃で家計にやさしいタイプです。

※新自然災害共済に加入した場合も、風水害保障は不担保になります。

風水害など

- 暴風雨
- 突風・旋風 (竜巻含む)
- 台風
- 高波・高潮
- 洪水
- 豪雨・長雨
- 雪崩
- 降雪
- 降ひょう
- 左記による地すべりもしくは土砂崩れ



新自然災害共済の加入で風水害などの保障が、より手厚くなります。

新自然災害共済の保障の範囲

新 自然災害共済

- 新自然災害共済のみのご加入はできません。
- 標準タイプ 大型タイプの2種類があります。

地震など

- 地震による損壊
- 地震による火災
- 噴火による損壊
- 噴火による火災
- 津波による損壊



盗難による損害

- 盗難による盗取・汚損・損傷が生じ、所轄警察署に被害の届け出をした場合

公宅・借家入居されている方へ

うっかり(水道管凍結、水漏れ)で貸主や隣人等に損害を与えてしまった場合、大きな負担となります。
年掛金6,650円で万が一のために備えましょう。



<例>

うっかりお風呂の水を出しっぱなしにして出かけてしまいました。階下の住人のカーテンや家具を濡らしてしまい、家主からは、床や壁を張り替える修繕費用を請求されてしまった。修繕費用100万円、階下の人への賠償(法律上の賠償責任額)で50万円かかり、合計150万円の出費!

【おすすめ加入例—木造構造の場合】

- 家財30口(最高300万円保障)×70円(木造構造) = 年掛金2,100円
- 借家人賠償責任特約50口(最高500万円保障)×45円(木造構造)年掛金2,250円
- 個人賠償責任共済 年掛金2,300円

合計6,650円

風水害・地震への備えは 新 自然災害共済 で!

新 自然災害共済 を付帯すると、共済金にこれだけの差がでます!!

住宅・家財それぞれ100口加入の場合 (木造構造の場合)	新 火災共済 のみ 掛金70円×200口=14,000円	新 自然災害共済 大型タイプ を付帯 掛金165円×200口=33,000円
地震の被害を受けたとしたら (被害額100万円超の場合)	支払われません	60万円～600万円の支払い
台風で住宅被害を受けたとしたら (風水害等による一部壊～全壊・流失)	5.75万円～345万円の支払い	19.75万円～1,745万円の支払い (新火災共済からの支払額を含む)
洪水の被害を受けたとしたら (風水害等による床上浸水)	11.5万円～172.5万円の支払い	53.5万円～872.5万円の支払い (新火災共済からの支払額を含む)

※「マンション構造専用(風水害保障なしタイプ)」の場合、支払いはありません。

こんなとき 保障されます。

- 1 各地で発生している風水害
- 2 地震や津波、そして噴火
- 3 盗難被害にも対応

新自然災害共済の掛金のうち、地震等損害保障部分に相当する掛金は、地震保険料控除の対象となります。

新 火災共済 にプラスしてさらに幅広い保障を

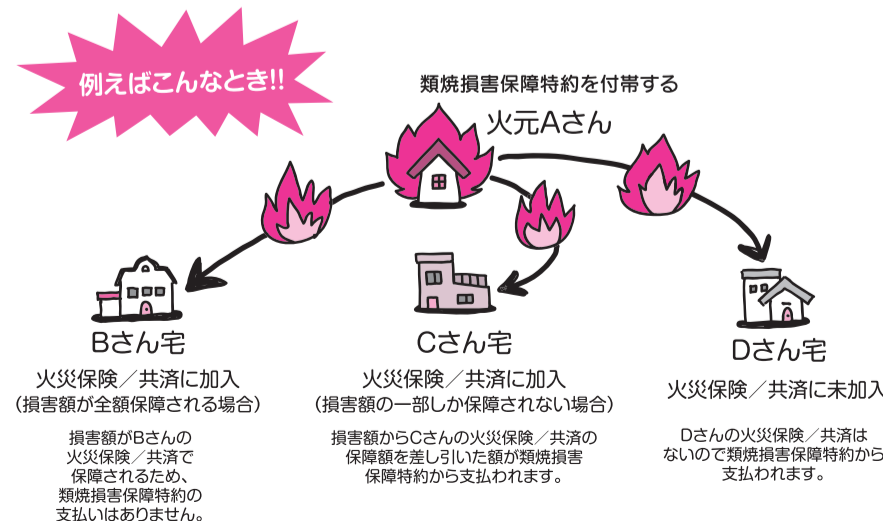
類焼損害保障特約

自分が火元になって近隣住宅に与えた損害が保障されます。

年払掛金 2,300円で!!

最高保障額 1億円

※新火災共済に30口以上加入している場合に付帯できます。



個人賠償責任共済

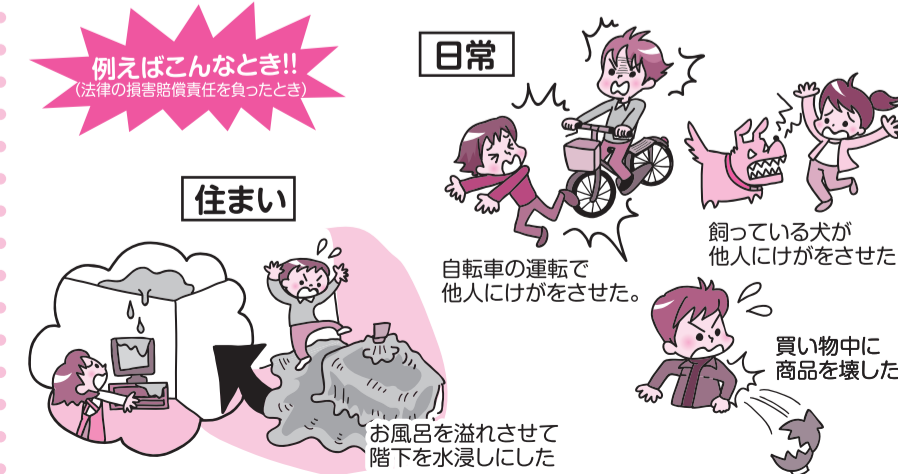
住まいのトラブルだけでなく、日常生活で負った賠償責任を保障します。

※1契約で家族(契約者と同一生計の同居家族全員)の賠償を保障します(国内のみ)。

年払掛金 2,300円で!!

最高保障額 1億円

※新火災共済に30口以上加入している場合に付帯できます。



掛金

1口あたりの掛金
[年額]

建物構造区分	新火災共済	新自然災害共済		借家人賠償責任特約
		標準タイプ	大型タイプ	
木造構造	70円	110円	165円	45円
鉄骨・耐火構造	40円	70円	105円	20円
マンション構造	30円	60円	90円	15円
風水害保障なしタイプ	25円	55円	80円	15円

中途加入するときの(1口あたりの)掛金表

※類焼損保障特約等の中途加入掛金表については、リーフレットをご覧ください。

住宅構造	区分	8月1日発効	9月1日発効	10月1日発効	11月1日発効	12月1日発効	1月1日発効	2月1日発効	3月1日発効	4月1日発効	5月1日発効	6月1日発効	7月1日発効
木造構造	新火災共済	70円	65円	59円	53円	47円	41円	35円	30円	24円	18円	12円	6円
	新自然災害共済-標準タイプ	110円	102.5円	93円	83.5円	74円	64.5円	55円	47.5円	38円	28.5円	19円	9.5円
	新自然災害共済-大型タイプ	165円	153円	139円	125円	111円	97円	83円	70円	56円	42円	28円	14円
	借家人賠償責任特約	45円	43円	39円	35円	31円	27円	23円	20円	16円	12円	8円	4円
鉄骨・耐火構造	新火災共済	40円	37.5円	34円	30.5円	27円	23.5円	20円	17.5円	14円	10.5円	7円	3.5円
	新自然災害共済-標準タイプ	70円	65円	59円	53円	47円	41円	35円	30円	24円	18円	12円	6円
	新自然災害共済-大型タイプ	105円	98円	89円	80円	71円	62円	53円	45円	36円	27円	18円	9円
	借家人賠償責任特約	20円	20円	19円	17円	15円	13円	11円	10円	8円	6円	4円	2円
マンション構造	新火災共済	30円	30円	27円	24円	21円	18円	15円	15円	12円	9円	6円	3円
	新自然災害共済-標準タイプ	60円	57.5円	52円	46.5円	41円	35.5円	30円	27.5円	22円	16.5円	11円	5.5円
	新自然災害共済-大型タイプ	90円	85円	77円	69円	61円	53円	45円	40円	32円	24円	16円	8円
	借家人賠償責任特約	15円	15円	14円	12.5円	11円	9.5円	8円	7.5円	6円	4.5円	3円	1.5円
マンション構造 風水害保障なしタイプ	新火災共済	25円	25円	23円	20.5円	18円	15.5円	13円	12.5円	10円	7.5円	5円	2.5円
	新自然災害共済-標準タイプ	55円	53円	48円	43円	38円	33円	28円	25円	20円	15円	10円	5円
	新自然災害共済-大型タイプ	80円	75円	68円	61円	54円	47円	40円	35円	28円	21円	14円	7円
	借家人賠償責任特約	15円	15円	14円	12.5円	11円	9.5円	8円	7.5円	6円	4.5円	3円	1.5円

※解約返戻金は、上表の共済期間満了までの月数を既経過共済期間に読み替えて(1カ月に満たない端数日は切り上げとなります)算出します。

- 住宅のみの加入、家財のみの加入もできます。
- 新自然災害共済は、新火災共済に付帯してのご契約となります。新自然災害共済のみのご契約はできません。
- 新自然災害共済の標準タイプと大型タイプはお申し込みの契約ごとに選択することができます。
- 住宅・家財それぞれ偶数口数でお申し込みください。
- 新自然災害共済は、住宅・家財ごとに新火災共済の口数と同口数または、1/2口数(口数が奇数になった場合、偶数口数に切り上げてください)でお申し込みください。

必要保障額と掛金の計算

2ステップでカンタン!

ステップ1 必要保障額の計算

必要保障額(加入基準)とは、元通りの生活を再建させるのにいくらかかるか、その目安となるものです。

住宅の必要保障額 (持ち家)

●住宅の延床面積を確認します。

坪 (坪数=㎡÷3.3) ※坪数小数点以下切り上げ

●1坪あたりの加入基準を確認します。

●所在地の加入基準を①に記入してください。

住宅構造	住宅の所在地	1坪(3.3㎡)あたりの加入基準
木造構造	北海道	60万円
鉄骨・耐火構造 マンション構造	北海道	70万円

●住宅の必要保障額を計算します。

坪 × ① = ② 万円

▲他保険(共済)契約のある方は、以下の計算をしてください。
※必要保障額を超える加入はできないため記入いただきます。
※切りの替えで申し込みされる場合は記入は不要です。

② 万円 - 他保険(共済)契約 ③ 万円 = ④ 万円

家財の必要保障額 (持ち家・賃貸住宅)

●住宅の延床面積・世帯主の年齢・世帯人数をもとに家財の必要保障額を確認します。

●家財の必要保障額(加入基準)を下表から調べます。該当の加入基準を②に記入してください。

住宅延床面積	世帯主年齢	世帯人数				
		単身	2人	3人	4人	5人以上
30歳未満		500万円	900万円	1,000万円	1,100万円	1,200万円
10坪以上 4030歳未満以上		600万円	1,300万円	1,400万円	1,500万円	1,600万円
40歳以上		700万円	1,800万円	1,900万円	2,000万円	2,000万円
10坪未満		上記の額、または700万円のいずれか少ない額				

▲他保険(共済)契約のある方は、以下の計算をしてください。
※必要保障額を超える加入はできないため記入いただきます。
※切りの替えで申し込みされる場合は記入は不要です。

② 万円 - 他保険(共済)契約 ③ 万円 = ④ 万円

住まいの共済は、持ち家が賃貸住宅かによって、必要な保障を選ぶことができます。

お住まいの方
戸建て・マンション
保障の対象は住宅と家財
住宅のみ
家財のみ

お住まいの方
賃貸住宅に
戸建て・マンション・アパート
保障の対象は家財のみ
家財のみ

ステップ2 掛金の計算

掛金は加入口数により算出します。

●持ち家の方は住宅と家財の合計加入口数、賃貸の方は家財の加入口数を計算します。

住宅の必要保障額 ⑦ または ④ ÷ 10万円 = a
家財の必要保障額 ⑧ または ⑤ ÷ 10万円 = b
合計加入口数 = a + b = c

●掛金を計算します。建物構造区分ごとに掛金が異なります。

●火災共済の掛金額

1口あたりの掛金	年払
木造構造	70円
鉄骨・耐火構造	40円
マンション構造	30円
風水害保障なし	25円

●自然災害共済の掛金額

1口あたりの掛金	年払
木造構造	110円
鉄骨・耐火構造	70円
マンション構造	60円
風水害保障なし	55円

●付帯される特約の掛金額

年払	年払	年払
2,300円	1,100円	2,300円

●合計の掛金を計算します。

A 円 + B 円 + C 円 = あなたの掛金額

※掛金計算上、端数(50銭)が発生した場合は切り上げとなります。

※必要保障額のうち加入できるのは住宅4,000万円(400口)、家財2,000万円(200口)が限度です。 ※借家人賠償責任特約に加入希望の方は、リーフレットをご覧ください。